

平成 30 年度 推薦入学の合否及び判定方法に関する基準

沖縄県立本部高等学校

1. 募集定員

普通進学・情報コース、基礎福祉・スポーツコースそれぞれ募集定員の 25%（それぞれのコース 10 名）以内とする。

2. 判定基準について

下記の出願資格及び出願要件に合致する者をそれぞれ審議し、合否を決定する。

【出願資格及び出願要件】

1. 自己表現

- (ア) 文化活動
- (イ) スポーツ活動
- (ウ) 社会活動
- (エ) ボランティア活動
- (オ) 資格取得等の活動

2. 個性表現

- (ア) 音楽、美術、書道等の芸術分野
- (イ) 文芸、研究等の分野
- (ウ) 舞踊、創作ダンス、手話等の身体的活動を伴う分野
- (エ) 留学等の体験的分野

3. 判定方法

- 2) 合格者の判定は「審議事項」「実績事項」「考慮事項」を参考に総合的に判断し決定する。

【審議事項】

- 1. 行動の記録に関して。
- 2. 各教科の学習の記録に関して。
- 3. 特別活動の記録に関して。
- 4. 行動の記録に関して。
- 5. 出欠の記録に関して。
- 6. 面接に関して。

【実績事項】（ここでいう地区は国頭地区に相当する規模）

- 1. 文化活動・・・ 地区大会入選以上、生徒会役員（副会長以上）
- 2. スポーツ活動・・・ 地区大会ベスト 4 以上、県大会ベスト 16 以上（団体・個人ともに）
地区選抜代表選手、県選抜代表選手に選ばれた者
- 3. 社会活動・・・ すべて抜き出し
- 4. ボランティア活動・・・ すべて抜き出し（ただし、全校生徒での取り組みは除く）
- 5. 資格取得等の活動・・・ 各種検定 4 級以上、その他のものについては適宜審査する。

【考慮事項】

1. 内申点の著しく高い者（3年の内申点が高い場合は特に考慮）。
2. 特別活動及び諸活動の記録が著しく良い者。
3. 3ヵ年皆出席の者。またはそれに近い勤怠状況の者。（3年の勤怠状況が良い者は特に考慮）
4. 学習の記録の観点別評価、特別活動の記録、行動の記録において○印の数が著しく多い者。
（3年の状況が良い場合は特に考慮）
5. 面接等の内容が著しく良い者。
6. 高校3ヵ年間、部活動を頑張れるという強い意志のある者。
7. 調査書④総合所見の内容（特に3年の内容）。
8. 自己申告書のある者。
9. 健康上就学に支障のある者。